令和２年度第１回東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会
議事要旨

【開催概要】

１．開催日時 令和２年６月 30 日（火）

２．場所　　書面開催

３．出席者

有識者　布施公共職業安定所 稲葉所長
株式会社ジェイコムウエスト東大阪局　大林局長
日本政策金融公庫東大阪支店 芝田支店長
株式会社 商工組合中央金庫 東大阪支店 隅田支店長
近畿大学 経営学部 高橋教授
東大阪労働団体連絡協議会 田中代表委員
東大阪市教育委員会 堤教育委員
株式会社ジュピターテレコム J:COM プロダクション関西　長尾センター長
東大阪商工会議所　松尾専務理事
東大阪大学 吉岡学長代理

事務局　松本企画財政部長、竹本企画室長、飯田課長、谷総括主幹、平田係員

【次第】

１　まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和元年度取組内容及び実績
２　人口移動状況の報告
３　第２期東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針と今後のスケジュール

【資料】

・次第
・有識者名簿
《資料 1-1》　まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について
《資料 1-2》　東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第４版)
《資料 1-3》　東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業のＫＰＩ等設定シート
《資料 1-4》　令和元年度に国の交付金を活用して実施した事業内容
《資料 1-5》　令和元年度事業で国の交付金が採択された新規事業内容
《資料 2-1》　国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成 30 年推計)」
《資料 2-2》　令和元年（2019 年）における東大阪市の転入・転出の状況
《資料 3-1》　第２期東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針（案）
《資料 3-2》　総合計画と総合戦略の関係性
・意見用紙

【会議要旨】

■次第１　まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和元年度取組内容及び実績

［資料 1-1～1-5］

＜有識者より意見＞

●資料 1-2（東大阪市総合戦略(第 4 版)）の 11 ページ「基本目標２　人を呼び込む流れをつくる」について

- 新型コロナウイルスの影響で各県や市への往来が少ない今だからこそできることを実施して今後の人の流れにつなげるといいのではないかなと思う。
  例えば、「リモートで教室を開催（モノづくり・工作のような習い事系、絵本の読み聞かせや遊びなど子育て系)」、「SNS のページを立ち上げて市内の各所や食を中心に情報発信をして「インスタ映え」を狙う若者が食いつくような内容を発信、集客につなげる」。

●資料 1-2（東大阪市総合戦略(第 4 版)）の 16～17 ページ、資料 1-3（KPI シート）の施策 3 について

- ・若い世代に長く定着して住んでもらうためにも、子育て支援は力を入れる項目であると感じる。
  ・子育てで何か困ったことがあった時、市の支援や施策を頼りにできる、と誰もが思えることや安心して子育てができる環境が整っていることは住まいを決めるうえで重要だと思う。
  ・実際にリフレッシュ型一時預かり保育は目標値を上回る 1,904 人が利用されており、必要性が非常に高いと感じた。特に、今年以降、新型コロナウイルスの影響を受けて親（高齢者）に子どもを預けることをためらったり、民間の一時預かり所閉鎖があったりと、生活形態が変化していき、更に需要が増えると思われる。より一層手厚い支援の施策が整えば、子育て世代にとって魅力的要素になる。

●資料 1-3（ＫＰＩシート）の全般について

- 新型コロナウイルス感染防止の影響で先送り又は中止となったイベント等については、次年度開催を前提に精査しながら、推進頂きたい。

●資料 1-3（ＫＰＩシート）のＲ２年度取組内容について

- 新型コロナの影響で、取組に掲げるイベント等は予定どおり実施できない可能性が高い。コロナ禍でのイベントのあり方（安全に開催するための方策やリモート開催の推進等）や、イベントに頼らない新たな取組について、今のうちに考えておく必要がある。

●資料 1-5（令和元年度事業で国の交付金が採択された新規事業内容）について

- ラグビーのまち、だけでなくウィルチェアースポーツといえば東大阪！と言われ、全国から競技者が集まるほど広まっていってほしい。

■次第２　人口移動状況の報告

［資料 2-1～2-2］

＜有識者より意見＞

●資料 2-2（令和元年（2019 年）における東大阪市の転入・転出の状況）について

- 近隣市への転出を食い止めるには、利便性や安全性をより高めることが必要だと思う。例えば、大型ショッピングモール誘致やアクセスの良い広い公園など、子ども連れで一日中楽しめるような施設や医療施設を充実させるなど。

- 新型コロナウイルス流行に伴う緊急事態宣言や外出自粛といった事態が起こった時、東大阪市民でよかった、安心できたと思える施策などが特に感じられなかった（ハードルは高いが）。今回のことで、有事の際の対応内容や速度は市によって差があると感じた為、そういった点が保証されていることも定住理由のひとつになるのではないかとあらためて思った。

■次第３　第２期東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針と今後のスケジュール

［資料 3-1～3-2］

＜有識者より意見＞

●資料 3-1（第２期東大阪市総合戦略策定方針（案））の策定の趣旨について

- 新型コロナの問題は悩ましいが、現時点でコロナが制御できていない以上、コロナの影響が続いてもある程度対応できる戦略が必要。「コロナがなければできたのに」という内容ばかりにならないように知恵を絞る必要がある。

以上